



株式会社 アンドアーク
代表取締役

大櫛 勝彦

幼少期からものづくりの世界に憧れ、学業修了後は建設業界へ。新築からリノベーションまで1000軒以上の物件に携わる中で、より顧客と近い距離感で質の高いサービスを提供したいという思いが芽生え、独立を決意する。2017年に(株)アンドアークを設立し、現在は宅地建物取引士などの資格も取得。顧客の住まいづくりをトータルでサポートしている。

60年以上暮らせる住まいをプロデュース 顧客と二人三脚で家づくりをする建設会社

北九州市を拠点に、オーダーメイドでの住宅施工を請け負う(株)アンドアーク。「共につくる」ことをテーマに掲げる大櫛社長は、顧客の理想の住まいを実現すべく、きめ細やかな提案を欠かさない。その独自のスタイルに、ミュージシャンの鶴久政治さんが迫った。

目の届く範囲で最高の家づくりを

鶴久 大櫛社長は、これまで建設業界一筋で歩んでこられたそうですね。まずは、独立までの経緯をお聞かせください。

大櫛 私は子どもの頃から物をつくるのが好きで、建設の世界に憧れていたんです。同じくらい飲食業にも興味があったので、どちらの道に進むか迷った時期もありましたが、最終的には家という、誰にとっても人生で大きな買い物に携わってみたいという気持ちが勝り、建設業界に足を踏み入れました。

鶴久 そんなに早くから家づくりに携わることを考えていらっしゃったとは。就職した後もすぐに独立されるプランを立てられていたのですか？

大櫛 いえ、実は独立心はさほどありませんでした。ただ、前職で1000軒を超える物件を扱う中で、同時に数多くの物件を担当していたため、自分が思い描くサービスに辿り着くのに時間が掛かってしまうと感じるようになって。私は、どの現場も自分の目でしっかりと進行を見届けないと気が済まない性分なので、手の届く範囲で質の高いサービスを提供したほうが合っていると思い、独立を決意した次第です。

鶴久 なるほど。数よりも、一つひとつの物件やそのお客様としっかり向き合う道を選ばれたのですね。

大櫛 はい。そして、お客様の家づくりをさまざまな角度からトータルプロデュースさせて頂きたいと思い、建築だ

Company Data>>



株式会社 アンドアーク

〒803-0846
福岡県北九州市小倉北区下道津 4-9-27
URL <http://andarc.jp/>

けでなく不動産関係の知識も身につけ、開業前には宅地建物取引士の資格を取得しました。そうして、これまでの経験を生かしながら、お客様の住宅購入からアフターサポートに至るまで、長年を掛けて全てお任せ頂けるチームとして、当社を設立したのです。

寄り添う中でイメージを形にする

鶴久 では、実際にこちらにご依頼をしてからの流れについても、詳しく聞かせて頂けますか？

大櫛 当社ではまず、お客様のライフスタイルや、理想の生活像などをじっくり時間を掛けてヒアリングさせて頂きます。通常の住宅メーカーに依頼をすると、メーカーの商品に合わせた家づくりになってしまい、お客様の細かいご要望までは実現できないケースも。そのため、私は何よりも、お客様やそのご家族にとって住みやすい家をつくることを最優先に考えているんです。

鶴久 それは心強い！お客様が持っているイメージを正確に把握してくださるんですね。

大櫛 ええ。しかし、特に若い世代のお客様だと、自分の中でイメージを構築するのが苦手である場合が多いんです。一方で、ネット通販など多数の商品やサンプルの中から気に入った物を「セレクト」するのは得意でいらっしゃるんです。ですからあらかじめ、いくつかの図面やデザインの案を持っておいて、お客様に合わ

Focus on the topic

機能性とデザインを両立 『住みたい』をカタチにする

プロとしての誇りを持ち、専門知識や技術を高め、安心できる家づくりを提供する(株)アンドアーク。デザイン性の優れた高性能住宅をアトリエ建築家と共に考え、一軒でも多くの家族の「住みたい」をカタチにし、幸せに暮らしていける家づくりをサポートしていく。



せて提示させて頂きながら、イメージの擦り合わせを行っているのです。

鶴久 お話を伺っていると、本当に「一緒に家をつくる」という感覚を大切にしているのが伝わってきます。お客様との信頼関係も自然と構築されていきそうですね。

大櫛 私自身、何か物を買うときには、信頼できて身近に感じられる相手から買いたいと思うので、お客様との距離感がかなり大切にしています。そして、家づくりのあらゆる場面で、「もし、自分の家だったら」という視点を持って現場に臨むようにしてしまっています。これを肝に銘じてお客様に接するように、社員にも伝えているんです。

60年以上快適に暮らせる家

鶴久 社長ご自身は、お仕事のやりがいをごんどころに感じていますか？

大櫛 社員、お客様、職人の方——皆さ

んと共に楽しみながら、1つの家づくりに取り組めることが、何よりのやりがいですね。また、当社の「アンドアーク」という名前は、「共に建築する」という私の理想が由来になっているんですよ。鶴久 この先ますます多くの依頼があることと思いますが、今後のビジョンについてはいかがですか？

大櫛 私たちが手掛けた家は建てた後もしっかりサポートを行い、お客様のお子さん、お孫さんの代まで快適に暮らせるクオリティーを当たり前にしたと考え、家価値60年サポートを取り入れています。その中で、一切妥協をせず、お客様にも妥協をさせないスタイルを貫き、ゆくゆくは「高性能で、おしゃれでデザイン性のある家と言ったら、アンドアークだよね」と皆様にとって頂けるような企業へと成長したいですね。これからも1人でも多くのお客様と一緒に理想の家をつくり上げていくことを、楽しみにしております。



Guest Comment>>

鶴久 政治 (ミュージシャン)

1つの家を建てるまでに、お客様はもちろん、さまざまな他業種の方とも協力しながら現場を回していくという大櫛社長。さながら、アーティストを集めて1つの楽曲を完成させるプロデューサーのようで、私もお話を伺いながら共感できる部分が多かったです。ぜひこれからもその手腕を発揮して、一人ひとりにとっての理想の家を実現してあげてください。

